

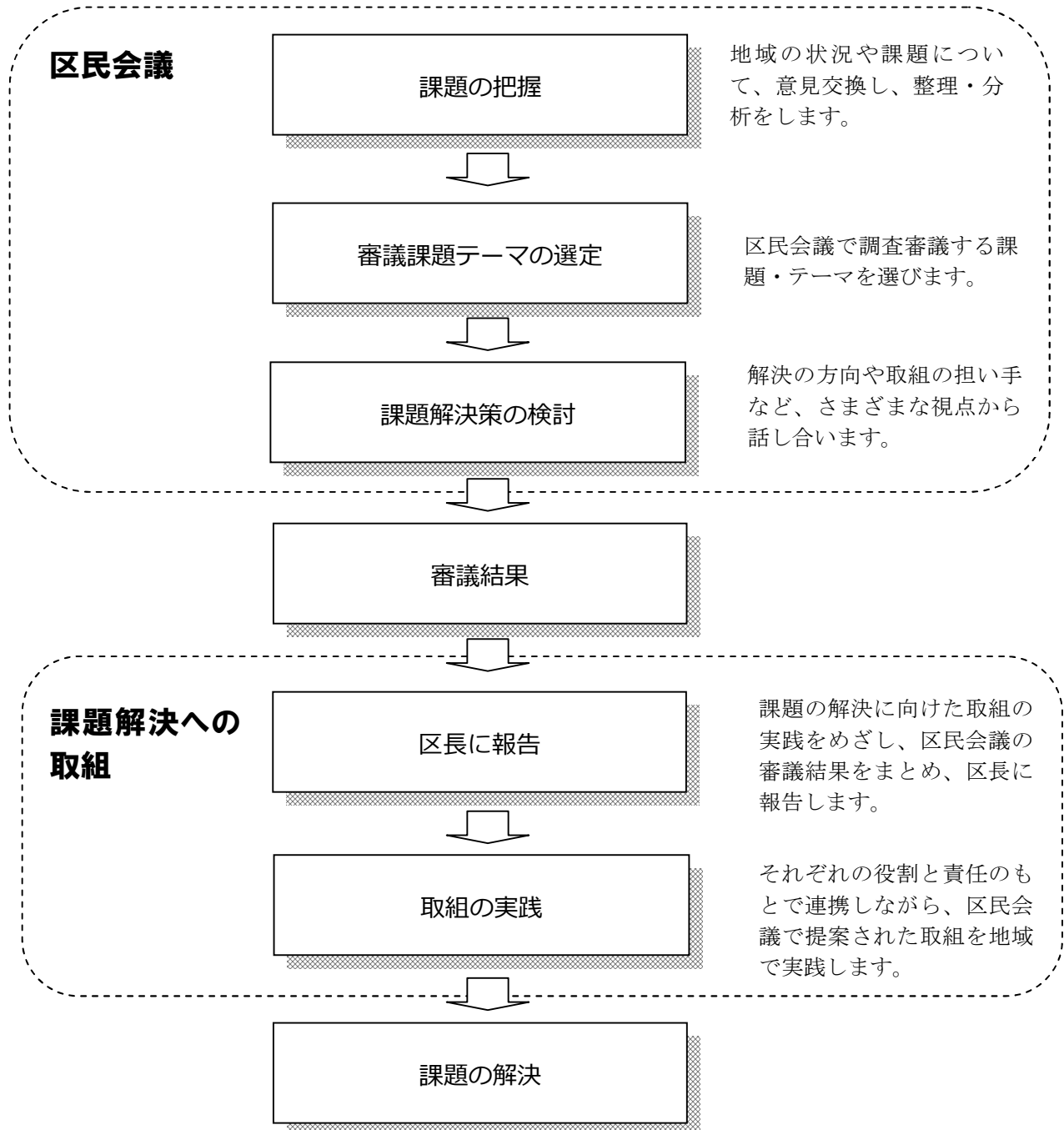
第1章 地域課題の把握と選定

1 区民会議とは

区民会議は、暮らしやすい地域社会を目指して、区民が中心となって参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議する会議です。

区民会議は、平成17年4月に施行した自治基本条例の第22条に規定されています。川崎区では、平成17年度の試行の区民会議から始まり、今回で第3期となります。

課題の把握から課題の解決まで、次のような手順で進められます。



2 地域課題の検討

(1) 地域課題の把握

第3期川崎区区民会議では、第1回全体会議開催に先立ち、各委員に対して審議課題に関する事前アンケートを実施しました。各委員が日頃の生活や活動を通して感じている課題について、「緊急性、重要性、実現性」などを考慮し、審議課題の候補を挙げました。出された課題を整理すると次のようになります。

◇事前アンケートで提案された地域課題

- 1 安全・安心のまちづくり
 - ・地域ネットワークによって、行政と市議会が対応できない「すき間」を補完したい
- 2 高齢社会への対策
 - ・地域ネットワークによって、行政と市議会が対応できない「すき間」を補完したい
- 3 子育てに関する対策
 - ・地域ネットワークによって、行政と市議会が対応できない「すき間」を補完したい
- 4 福祉の推進・健康増進
 - ・虐待・いじめ・非行・犯罪等の課題に対し、モデル地域を設定して解決策に取り組む
- 5 地域力による子どもの安心安全で幸せな暮らしの実現
 - ・虐待・いじめ・非行・犯罪等の課題に対し、モデル地域を設定して解決策に取り組む
- 6 高齢者及び障害者対策の強化
 - ・高齢者が区内を安心して闊歩できない
- 7 スポーツのまちとしての発展
 - ・小学生に対するスポーツの振興を推進する
- 8 防災活動の推進
 - ・火災の恐ろしさを知り、安全・安心で心豊かなまちを目指す
- 9 子育て支援
 - ・子どもを虐待から防ぐ対策など、安全・安心で心豊かなまちを目指す
- 10 地域が行う環境への取り組み
 - ・臨海部の企業が持つ最先端技術を知る機会をつくり、区民のエコ意識向上につなげる
- 11 生活防犯・防災づくり
 - ・生活道路上に各地域に緊急場所を設置する
- 12 予防接種
 - ・第3期・第4期MRワクチン(麻しん・風しん混合ワクチン)の接種率減少の改善
- 13 子育て支援
 - ・市民が安全・安心に暮らせる住みよいまちづくり
- 14 高齢社会対策
 - ・市民が安全・安心に暮らせる住みよいまちづくり

15 高齢社会に向けた環境づくり(サービス)

・行政や区内の団体が協力し、高齢者が自分に合った生き方を選択できる環境をつくる

16 福祉の推進・健康増進など幸せな暮らしを支える分野

・いろいろな悩みを相談して幸せな暮らしができるように、勉強会を地域ごとに行う

17 安全で住みよいまちづくり

・近所の住民でいながら、名前や顔を知らない人が多くいる

18 子育て

・学校の中や地域にいる、孤立したり集団化している子どもたちの居場所をつくる

19 環境

・省エネ運動や緑のカーテン導入などの活動を小中学校に展開する

20 高齢者の生きがい

・地域とのふれあいや、高齢者だからこそできる仕事(昔遊びなど)を発揮する場をつくる

21 子育ての活性化

・子育て世代が自分たちで地域を変えていく仕組みをつくり、子育て環境を改善する

22 地域緑化

・区民が“緑”に対して意識を高め、1世帯に1プランターがある川崎区を目指す

23 今、町内会のあり方を問う「検証！ザ・町内会」

・地域で大切な役割を担う町内会が、参加しやすくいきいきとした活動の場となる

24 子どもたちの遊び場の確保

・大人も子どもも楽しめるスポーツ「カローリング」を広め、住民が集える場をつくる

25 高齢者の社会貢献活動への参加の「きっかけ」づくり

・社会貢献活動の事例を紹介し、高齢者が社会活動へ参加するきっかけをつくる

26 “音楽のまちかわさき”の更なる発展とその取り組み

・区民が気軽に音楽活動できる環境をつくり、音楽を身近に感じられるようにする

これらの26の課題を分野・目的などにより整理すると、次のような分類になりました。

- 高齢社会関連
- 安全・安心関連
- 子育て支援関連
- 区のイメージアップ関連
- 環境・エコ関連
- 町内会のあり方に関する課題

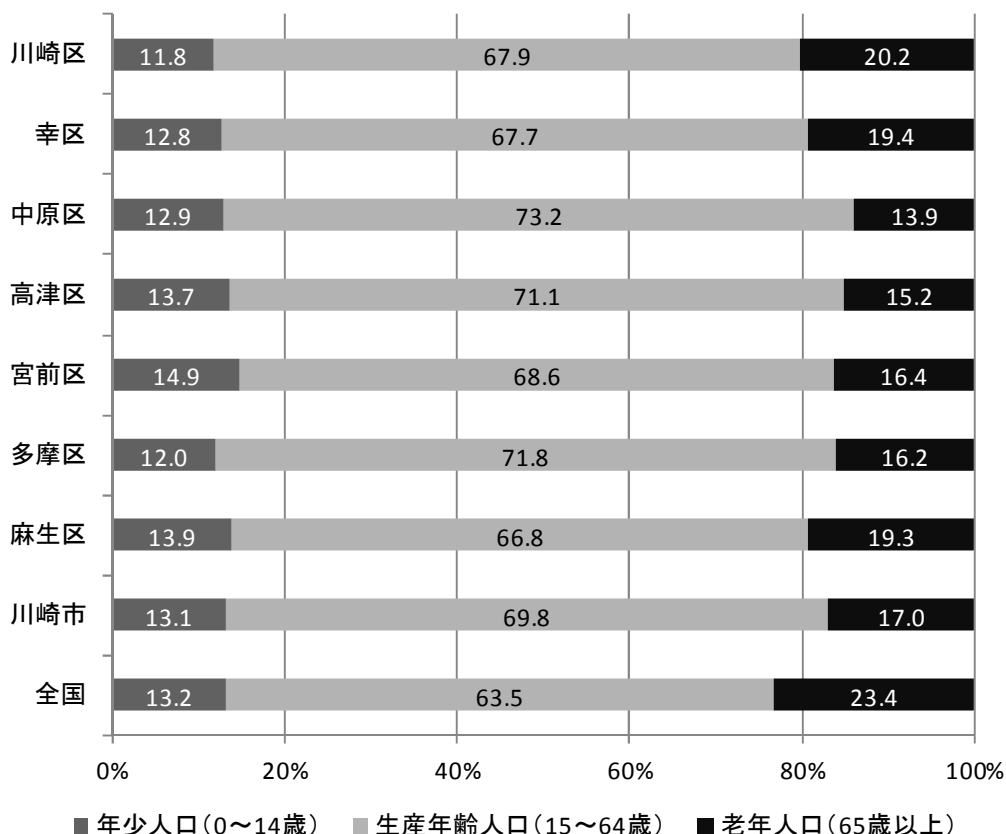
(2)川崎区における地域課題に関わる現況の整理

地域課題の分類を踏まえて、川崎区における地域課題に関わる現況を整理しました。

①高齢社会について

市内で最も早く住宅地が形成されてきた川崎区は、高齢化が進行しており、65歳以上の人口の割合が20.2%と市内で最も高齢化率が高くなっています。

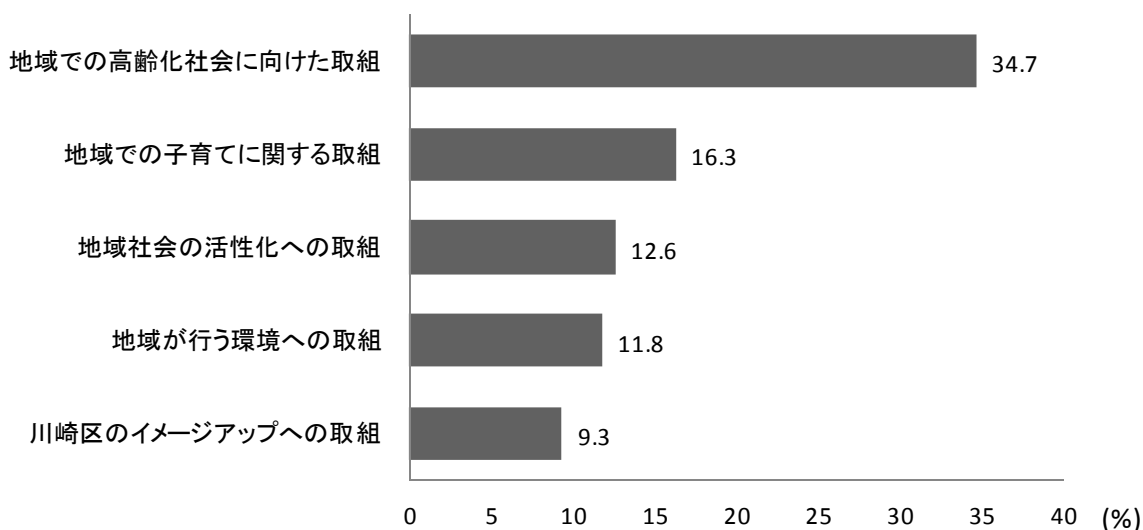
区別年齢3区分別人口（H23.10現在）¹



また、平成21年度に実施した川崎区区民アンケート調査では「最も優先的に解決する必要があるテーマ」に対する結果によると、「地域での高齢化社会に向けた取組」が34.7%で最も高く、次いで「地域での子育てに関する取組」16.3%、「地域社会の活性化への取組」12.6%となっており、高齢者が住み慣れた場所でいつまでも健やかに暮らしていけるよう地域で共に支え合うことのできるまちづくりが求められていることがわかります。

¹ 出典：住民基本台帳（川崎市ホームページ）。全国は総務省による推計概算値。構成比は、年齢不詳を除いて計算している。

＜最も優先的に取組解決する必要があるテーマ＞（平成 21 年度川崎区区民アンケート）



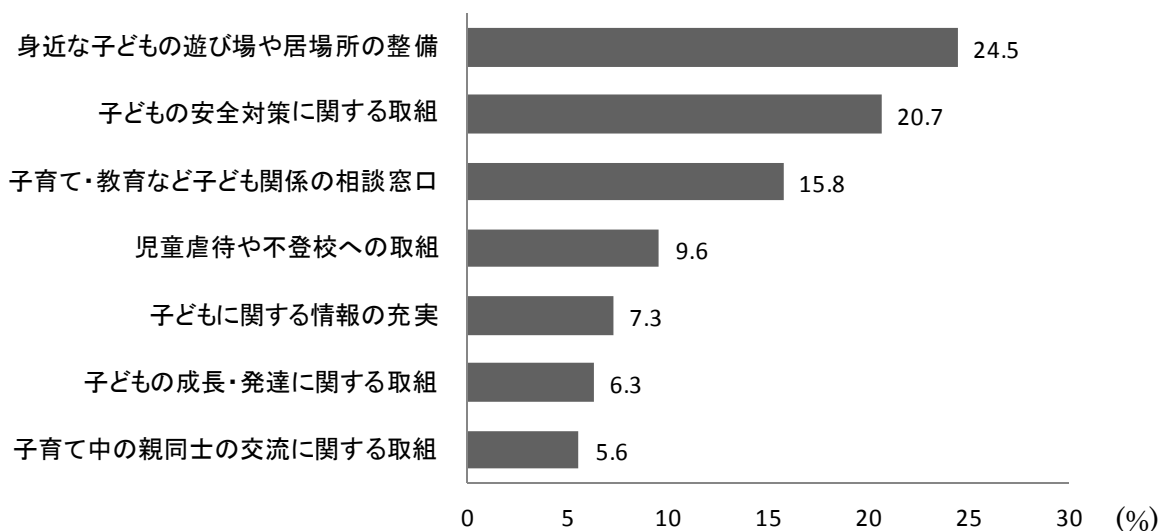
②子育て支援について

核家族化の進行により育児不安を抱く子育て世代が増加する中で、川崎区も大規模マンションの建設等により若い世代の転入が進んでいます。

また、海外からの移転により日本語に不慣れな親子が多いなど、複雑化する社会構成の中で様々な状況に適した支援が求められています。

平成21年度に実施した区民アンケートでは「子育てに対して最重要視する取組」についてをみると、「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」が24.5%で最も高く、次いで「子どもの安全対策に関する取組」20.7%、「子育て・教育など子ども関係の相談窓口の充実」15.8%という調査結果が出ています。

＜子育てに対して最重要視する取組＞（平成 21 年度川崎区区民アンケート）

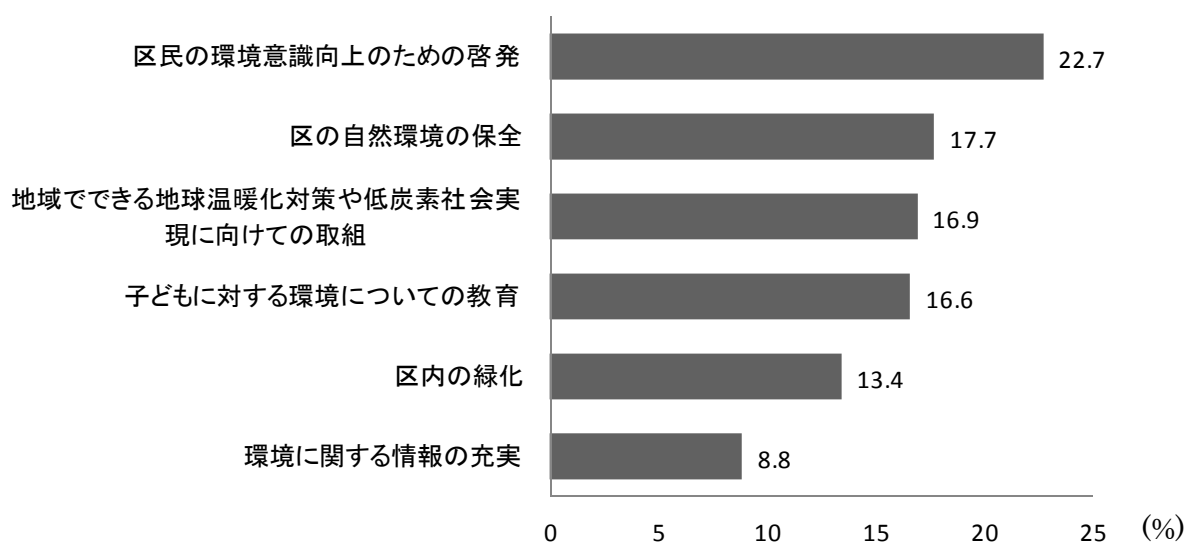


③環境・エコ関連について

川崎区は、市内で市街化が最も進んでいる一方、区域に占める300㎡の樹木の集団²の割合は2.5%と7区中最下位であり、緑が非常に少ない現状があります。

また、平成21年度に実施した川崎区区民アンケート調査の設問「環境に対して最重要視する取り組み」に対する結果によると、「区民の環境意識向上のための啓発」22.7%が最も高く、次いで「区の自然環境の保全」17.4%、「地域でできる地球温暖化対策や低炭素社会の実現に向けての取組」16.9%となっており、区民一人ひとりの緑に対する意識、さらには環境全体に関する意識が向上するような取り組みや、緑の保全の取り組みに対するニーズが高いことが分かります。

＜環境に対して最重要視する取組＞（平成21年度川崎区区民アンケート）



² 公園緑地の樹林地や多摩川の崖線などにみられる樹林地などを含み空中写真により把握している。市全体では7.4%。(平成18年1月1日データによる)

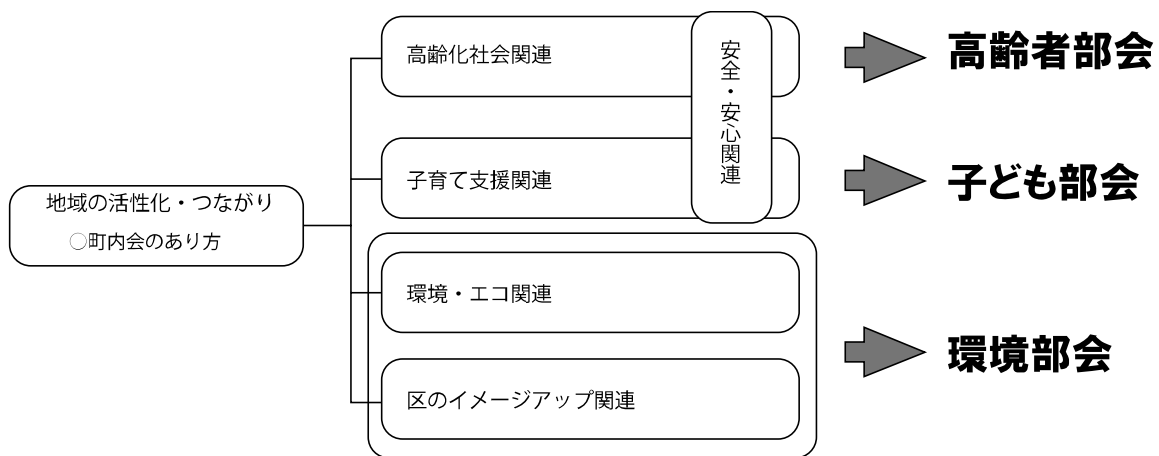
3 専門部会の設置、審議テーマ・審議課題の選定

(1) 専門部会の設置について

第3期区民会議では、上記で整理した地域課題や川崎区の現況を踏まえ、部会の設置を次のように考えました。

- ① 区民会議全体として、「地域の活性化・つながり」を重要なものとしてとらえ、共通事項とする。
- ② 安全・安心のまちづくりは高齢者に関わる課題や子育てに関わる課題に共通して重要なことである。
- ③ 川崎区は、環境を良くすることによって、区のイメージアップを図ることが重要である。

以上のようなことから、「**高齢者部会**」「**子ども部会**」「**環境部会**」の3つの専門部会を設置することとなりました。



(2) 審議テーマ・審議課題の選定について

① 高齢者部会

これまでに出されている課題を踏まえて、高齢者部会では、高齢者に関わる地域での課題について次の3つに集約しました。

(ア)「生きがい、社会貢献」:

元気な高齢者が活躍できる場を増やしたい。高齢者パワーを活用する。

(イ)「高齢者に対する環境づくり」:

家に引きこもってしまった人が外出しやすい仕組みをつくる。そして外出時には、障害物や段差のない安全な環境をつくる。

(ウ)「高齢者に優しいまちづくり(交通・シャトルバス・自転車)」:

シャトルバス導入や路線バス交通網整備などによって、自転車を利用しなくても、簡単に外出できるようにする。

3つに集約した課題について審議した結果、交通関係の内容となっている「高齢者に優しいまちづくり」は、「高齢者に対する環境づくり」に取り組むこととし、部会全体としての審議テーマという位置づけにすることにしました。これにより、審議テーマ、審議課題について、次のようになりました。

◎審議テーマ：「高齢者に優しいまちづくり」

◎審議課題：「生きがい、社会貢献」「高齢者に対する環境づくり」

② 子ども部会

これまでに出されている課題を踏まえて、子ども部会では、子どもの環境に関わる課題について次の3つに集約しました。

(ア)「子どもの居場所の確保」:

学校だけでなく、不登校や非行にはした子どもも含め、地域全体で子どもの居場所をつくる。

(イ)「MRワクチン(麻しん・風しん混合ワクチン)予防接種率の改善」:

MRワクチンの接種率を改善する仕組みをつくる。

(ウ)「カローリング³の普及強化」:

現在普及に努めているカローリングを積極的に交流の場等で活用する。

³ カローリングとは、氷上で行うカーリングを体育館等の床面でも手軽にできるように考えられたニュースポーツ。

3つに集約した課題のうち、「子どもの居場所の確保」について川崎区役所こども支援室から情報の提供を受けました。そして、「MRワクチン予防接種率の改善」「カラーリングの普及強化」は課題解決に向けた手段であるため、審議課題としてはこれらを網羅する内容にすることにしました。

◎審議テーマ：「元気な子どもが育つまちづくり」
◎審議課題：「地域での子育て、子どもの居場所づくり」
「子どもの健康を考える」
「世代間交流による子育て」

③環境部会

これまでに出されている課題を踏まえて、環境部会では、環境に関わる課題について、次の4つに集約しました。

(ア)「臨海部の活用」:

臨海部にある環境先進企業の見学などを実施し、啓発活動に取り組む。

(イ)「地域緑化」:

第2期から取り組んでいる緑のカーテンや環境啓発ポスターを継続・拡充する。

(ウ)「区のイメージアップ」:

環境エコと音楽をコラボレートしたイベントを開催する。

(エ)「自転車シェア」:

放置自転車を活用して自転車シェアに取り組む。

4つに集約した課題について審議した結果、「自転車シェア」については、川崎区役所地域振興課から市の自転車対策及びレンタサイクル等に関する市の検討状況を説明し、本市建設緑政局に当意見を情報提供することとし、審議課題から取り下げることにしました。

◎審議テーマ：「みんなが住みたい川崎区」
◎審議課題：「地域緑化」
「区民の環境意識向上」
「区のイメージアップ」